

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28年 1月 20日			
所属学部・研究科	教育学部 2年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ユヴァスキュラ大学 (国名: フィンランド)			
所属学部・学科等名	教育学部 教師教育 (OKL)			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27年 9月 1日 ~ 平成 27年 12月 31日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生在留許可			
	ビザ申請先: 在日フィンランド大使館			
	取得方法, 提出書類: ネットで申請の後、東京の大使館を訪問。英語でかかれた、健康保険書、パスポートのコピー、受け入れ大学からの受け入れ証明書、銀行口座の残高証明をネット申請の際に添付し、大使館にも持参する。			
	手続きに要した日数: 3週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 27年 9月 1日			
経路	成田国際空港—ヘルシンキヴァンター空港 (直行便)			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	全体に向けたオリエンテーションが4日間程度あります。大学について、フィンランドについて、街について、暮らし方、授業について等色々な話を聞きます。留学生3~4人につき1人学生チューターがついているのですが、その方が大学や周辺の案内をしてくれます。			
帰国年月日	平成 28年 1月 1日			
経路	ヘルシンキヴァンター空港—成田国際空港 (直行便)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	800000	円	
	内訳	渡航費	200000	円
		保険料	60000	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	140000	円
		食費	100000	円
		その他 (旅行 費)	300000	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				

2年 秋学期	9 月 1~2週目 ~ 12 月 5 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	広島大学での所属と関係なく向こうでの学部を選べますし、自分の選んだ学部が開講しているもの以外からも授業が履修できます。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	一つ一つの授業が濃くて重いので、あまり欲張って履修しすぎると大変です。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 235 ユーロ (現地通貨) 約 32900 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学斡旋の寮には、korteopohja と KOAS があります。それぞれに良い点悪い点があると思います。私が住んでいたのは korteopohja でした。サウナ、スポーツジム、(使ったことないけど) 図書館、ピアノ室 等様々な設備があり充実していましたが、すこし大学から遠かったです。寮によって、同居人の数が違います。私の寮は1人でしたが、KOAS の建物によっては、2人いるところもありました。 オーブンはついていますが、電子レンジはないです。必要なら買うと便利かも。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 60000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	

日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	とても寒いので防寒をしてください。冬には日照時間が減るので、人によっては体調が悪くなります。その対策として、スーパーに売っているビタミン剤を飲むと良いです。ヒーターがガンガンについている部屋だと乾燥がひどいです。水道水は東広島より美味しいです。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
日本より治安は良いと思います。 ただ、自転車の盗難にだけは気をつけてください！		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
フィンランド人は英語が流暢です。街の中ではたいていの人が英語を話せるので、わからないことがあれば聞いてみると良いと思います。 大学の食堂でも、スーパーでも、小さな店でも、クレジットカードが使えるのでとても助かりました。 スーパーの商品の表示がわからなくて困りました(大抵フィンランド語・スウェーデン語・ロシア語くらいしかない)。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 30年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	教員採用試験を受験する予定です。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	帰国後に介護等体験(5日間)をしました。 学生便覧に書いてある通り、事前に学部の先生に伝えておくと、必要な単位の取得の期限を遅らせてくれるので、当初の予定通り、教育実習に行くことができます。	
6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)		
TOEFLの勉強が大変だとは思いますが、英語力が高ければ高いほど留学生在活がスムーズにいくと思うので頑張ってください。 フィンランドは住みやすくとても良い国です。		

学習の概要に関するレポート

私は広島大学で教育学部の教員養成系コースに所属しているため、派遣先大学でも同じようなコースを選びました。私が受講したのは、教育系の授業4つ、英語の授業1つ、フィンランド語の授業1つです。

基本的には、1コマあたり90～150分の授業が週に一度でしたが、単位数や授業の回数、教室等、日本と比べると少し変則的なので、履修登録の際は注意してください。また、一つ一つの授業が大変なので、あまり多く履修しすぎると予習、復習が大変です。

授業によって講義スタイルが大きく異なります。私の場合、個人もしくはグループでプレゼンテーションをするもの、教育フォーラムに参加するもの、ディスカッションをするもの等様々でした。留学生向けに開講されている授業を履修するので、フィンランドの教育についてだけでなく、世界各国の教育について学びました。私の受講したものの1つは、大学院生向けのもので、予習やプレゼンテーションで多くの論文を読んだり、専門的で難解な授業を受けたりと大変でした。

私が一番好きだった授業は、フィンランド語1です。初級者向けに開講されているのは主に、「Survival Finnish」と「Finnish 1」で、前者は授業回数5～6回と少ないのですが、後者は週に3回と、とてもハードです。フィンランド語学習を始めたばかりの人だらけでしたが、初級者とは思えない人も多くいて、とても刺激になりました。全く知らない言語を学ぶのはとても刺激的で、面白いと思うのでオススメです。フィンランド人の英語はとても流暢ですが、やはり母語で話しかけられた方が親しみやすいと思いますし、自分のフィンランド語が通じた時はとても嬉しいです。

Each One Teach One という授業（広島大学でいうと会話パートナー）では、2人1組で、お互いの言語を教えあうことができます。私の日本人の友達たちの場合、フィンランド人とペアを組む人、ドイツ人と組む人等様々でした。言語能力を高め合うだけでなく、仲を深めて、休日に遊んだりしていたので、良いなあ、と思いました。

私は9月に渡航したのですが、8月中旬から英語とフィンランド語の授業が開講しているのので、参加するのをお勧めします。

授業とは別に、学部長の先生が企画してくださった、附属小学校見学ツアーに2度参加しました。大学内に小学校があり、45分間、児童がガイドしてくれます。小学生なのに流暢な英語を話していてとても驚きました。機会があれば、ぜひ学校見学に参加してください。

最後に、授業をよく理解するために英語力が不可欠です。**TOEFL**などの試験後も、留学に備えてしっかり勉強してください。

生活の概要に関するレポート

フィンランド人は英語が流暢に話せるため、フィンランドでの生活は想像していたほど大変ではなかった。しかし、表示はほとんどフィンランド語かスウェーデン語であったため、買い物などで困難は多少あった。

住居は寮の2人部屋であった。トイレ、シャワー、台所が共用である。私のフラットメートは香港人であった。はじめに掃除などの分担を話し合っておらず曖昧だったため、役割分担はあらかじめしておいたほうが良いと感じた。私は比較的フラットメートと良好な関係であったが、同居人で苦勞している日本人の友人もいた。ある友人は、スペイン人2人と共同生活を送っていたが、彼らは他の国の人と大きく生活スタイルが異なるようで、友人は悩んだ末、他の寮に引っ越し手続きをした。もし、なにか住まいに関してトラブルがあった場合は、寮の事務局に伝えると対応してくれる。

寮のセキュリティーは十分すぎるほど厳重であった。私の寮の場合は、カードキー+鍵がひとりひとりに支給された。オートロックであるため、カードキーを部屋の中に忘れて学校に行ってしまうと、締め出されてしまう。その場合、フラットメートの帰りを待つか、寮の事務局に連絡するか（かなりの確率で閉まっている）しなければならないため、注意が必要である。私は何度もカードキーを忘れたため、フラットメートにかなり迷惑がられた。

寮によっては、スポーツジムがあり、自由に使うことができる。朝早くから夜遅くまで開いていたので、暇な時はよく利用した。

お金に関しては、ほとんどの店でクレジットカードを使うことができた。カードは念のため2枚持っているといい。（私は旅行先でカードを紛失してしまったため。）生活に必要なものは、セカンドハンドショップ等にて中古で購入した。

フィンランドの店は早く閉まる。最近ではスーパーの営業時間がすこし伸びたようだが、それでも営業時間に注意して買い物をしに行かなければならない。祝日にはどの店も開いていないので、あらかじめ買いためしておく必要がある。（クリスマス休暇中も店は空いていない。）

休暇中には、旅行に行くべきである。私は国外では4カ国、国内の都市もいくつか訪れた。日本人の友達でも外国人の友達でもいいので、誰か誘っていけば、心強いだらう。

生活に慣れるまでは苦勞することも多かったが、貴重な経験となった。私は、1年次に **START** プログラムに参加した。その時は、「訪れる」という感覚で滞在したが、今回ははじめて海外で「暮らす」ことができた。短い間であったが、数週間の研修とは違った異文化理解をすることができたと思う。フィンランド、ユヴァスキュラに出会えて本当に良かったと思う。